

令和6年2月1日

東部農林水産振興センター出雲農業部

標 題

令和5年度第2回出雲地域GAP生産者協議会を開催
～組織体制の強化や人材育成に役立つGAP実践のために～

(ダイジェスト)

去る1月17日、出雲地域GAP生産者協議会（神田真里会長、会員数19）は本年度第2回目の協議会を開催しました。
講演やトークセッション等を通じ、経営改善に活かす有効なGAP実践へ向け、ヒントを学びました。



協議会全体風景

本協議会は、出雲地域でGAPに取り組む生産者どうしがつながり、交流を図りながら、販売促進や経営向上に向けた取組みを進めようと、昨年10月6日、19の組織・個人により発足しました。

この度、第2回目の協議会を開催し、会員10名と関係機関等12名が出席しました。

カンドーフーム株式会社 代表取締役 田尻一輝氏の講演では、組織体制やルールを従業員らと一緒に真剣に作り上げ有効に機能していることや、年間の取組みスケジュールを作成し自己点検等が効果的に実施できていること、毎月開催するミーティングで各部門担当者が研修を主催していること等、効率的な法人運営にGAPが有効に活用されている事例を具体的にお話いただきました。

これを受け、集落営農法人の役員からは、GAPに関わるルールを組合員に周知する難しさや、法人経営を担う担い手育成の重要性について話題が出されるなど、今後の取組みを考える気づきやヒントを得ることができたようでした。



講 演



意見交換

その後、美味しまね団体認証事務局を務めるJA担当者をコーディネーターとするトークセッションや、『経営の効率化にもっと役立つGAP実践・工夫』『GAP・美味しまね認証の認知度向上』の2つのテーマから自由に選んで参加する意見交換を通じ、会員間の意見・情報交換が活発に行われました。

当農業部としては、生産者どうしがつながり、経営改善に活かす有効なGAP実践に向け前進できるよう、今後も本協議会の活動を支援していきます。